

平成30年度予算見積調書(2月補正予算)

課室名：農村整備課
 担当名：農村環境担当
 内線：4348

(単位：千円)

番号	事業名		会計	款	項	目	説明事業	
B56	彩の国ゆたかなむらづくり整備事業		一般会計	農林水産業費	農地費	土地改良費	団体営土地改良事業費	
事業期間	昭和58年度～平成32年度	根拠法令	農山漁村地域整備交付金実施要綱、農山漁村地域整備交付金実施要領、農山漁村地域整備交付金交付要綱		宣言項目	分野施策	051246 川の再生	
1 事業の概要			5 事業説明					
<p>農業集落におけるし尿、生活雑排水の汚水などを処理する施設を整備することにより、農業用排水の水質の汚濁を防止し、農村地域の生活環境の向上を図る。</p> <p>(1) 補助金(国庫) △5,830千円 他事業への移行に伴う減額</p> <p>(2) 事務費 △507千円 (1)の減による減額</p> <p>(3) 交付金(県単) △92千円 交付対象額の確定による減額</p>			<p>(1) 事業内容</p> <p>ア 補助金(国庫) 農山漁村地域整備交付金(国庫事業実施箇所19地区) △5,830千円 イ 事務費 国庫事業に係る県事務費 △507千円 ウ 交付金(県単) 農業集落排水整備推進交付金(交付対象2地区) △92千円</p> <p>(2) 事業計画</p> <p>全体計画地区数 147地区 整備済地区 143地区 整備実施地区 1地区 整備予定地区 3地区</p> <p>目 標 生活排水処理人口普及率 平成37年度 100%</p> <p>(3) 事業効果</p> <p>ア 発生した汚泥を農地還元や建設資材にリサイクルすることにより、環境への負荷の少ない循環型社会の構築に貢献する。 イ 農村生活環境の改善と公共用水域を含めた農業用排水の水質が改善される。</p> <p>(4) その他</p> <p>H29から支弁人件費を給与費へ移行した。</p> <p>(5) 補正予算の概要</p> <p>ア 他事業への移行に伴う減額。 イ アの減による減額。 ウ 交付対象額の確定による減額。</p>					
2 事業主体及び負担区分								
事業主体：市町村 負担区分：事業費(国10/10、1/2・県0) 市町村1/2 (国5/10・県1.5/10) 市町村3.5/10 事務費(県10/10)								
3 地方財政措置の状況								
県負担額について、地方交付税措置の対象となるよう総務省へ要望している。								
4 事業費に係る人件費、組織の新設、改廃及び増員								
9,500千円×6.5人=61,750千円								
予算額		財 源 内 訳					一般財源	補正後の 予算額
決定額	△6,429	国庫支出金	△5,830				△599	340,771
現計額	347,200		323,250				23,950	